



社協びしゃもん台



広島市安佐南区
毘沙門台学区社会福祉協議会
広報部 TEL(082)876-2603

令和2年度末を迎えるにあたって

皆様には、ご健勝にて健やかな日々をお過ごしのこととお慶び申し上げます。

令和2年度は、「新型コロナウイルス」の急激な感染拡大によって、世界中が緊急事態に追い込まれました。日本でも「新型コロナウイルス特別措置法」が施行され、11都道府県に「緊急事態宣言」が発令されました。

広島県内でも感染拡大を防止するために、公共施設の利用自粛、集会等諸事業の自粛が発表されました。町内会など学区諸団体も、諸行事の自粛（とんど、盆踊り、秋祭り）諸施設（ふれあいセンター絆・集会所等）の利用自粛を皆様をお願いしてまいりました。

有効な治療薬の開発、承認、普及が急がれていますが、現在も治験段階にあり、ワクチン接種はなお時間がかかるとの報道があります。感染しない・させない努力が求められています。

当社会福祉協議会は、広島県、広島市の方針に従って、盆踊り大会・秋祭りの中止だけでなく、各種のイベントを自粛し最低限のイベント（ウオークラリーinびしゃもん台等）のみ行い1年間の運営を行ってきました。

何よりも命・健康を第一に考え、3密（密集、密閉、密接）を避け、マスク、消毒、手洗いを奨励してきました。コロナ禍で体を動かさないことからフレイルが誘発されることを危惧し、多根先生の「体操DVD」を作成し皆様に少しでも体を動かしていただくよう案内させていただきました。

新型コロナウイルスの感染拡大は今なお進行しており、緩むことなく十分な警戒と注意が必要です。

当地区の少子高齢化は進行し、独居高齢者の世帯が増加している状況から近隣住民の皆さま方のお互いの気配り・目配り・心配り（日常的なネットワークの強化）が求められています。

団地内ではお互いに連携を強めていく必要があります。回覧板の声掛け渡し、向こう3軒両隣の安全確認、日常的な挨拶運動、子供会、老人会の加入と行事参加率の向上、行事への参加呼びかけ等が必要です。安心・安全を意識した「顔と名前」が一致した街づくりにお互いに努力していきましょう。

令和3年度の総会をはじめ各種活動は、新型コロナウイルス感染の拡大から皆さまの命と健康を守るために開催方法を検討中ですが一堂に会した会議等が現時点で開催できるか不確定な状況です。

皆さまのご理解とご協力をよろしく心願いたします。団地にお住まいの皆さま方お一人お一人のご健康と安寧を心よりお祈り申し上げます。

毘沙門台学区社会福祉協議会
副会長 武田 知明

毘沙門台小学校総合学習

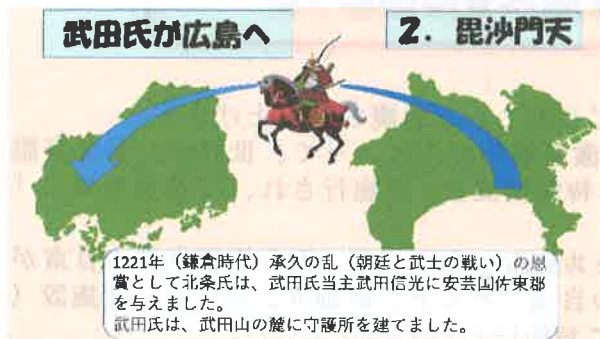
毘沙門台小学校の校長先生から依頼があり総合学習で社会福祉協議会から、昨年、11月18日（水）、12月23日（水）に6年生に毘沙門台社協のまちづくりについて説明をし、その説明を踏まえ6年生が具体的にまちづくりへ取り組む内容の発表会が2月22日（月）にありました。また、今年2月9日（月）に毘沙門台の歴史を4年生に説明しました。

小学生がいつまでも毘沙門台を大切に思い、いつまでも故郷とおもい大切にしてほしいと願

っています。

(1) 毘沙門台の歴史を説明しました。

2月9日(火) 毘沙門台小学校4年生(3クラス)に毘沙門台の歴史を説明しました。毘沙門台遺跡、毘沙門天の歴史、毘沙門台団地の歴史そして毘沙門台小学校の歴史を説明しました。承久の乱の恩賞として北条氏が武田氏に安芸国佐東郡を与えたことを説明し、武田氏が多聞天を北の守りとしたことなどを説明しました。皆さん興味をもって熱心に聞いて今まで以上に毘沙門台に愛着を持ってくれたと思います。



(2) 6年生が毘沙門台の「まちづくり」について発表してくれました。

2月22日(月)に6年生が13グループ(5~6人/グループ)に分かれ発表しました。発表は「紙芝居」、「寸劇」、「クイズ」、「PCを使用」等々趣向を凝らした発表でした。

発表は、「暮らしやすい町」、「ノー犯罪」、「協力し合えるまち」、「あきらめるな安心安全」、「自然を豊かにしよう」、「支え合い助け合い」、「食品ロスをなくそう」等々のテーマを発表しました。

特に、現状を分析し他の地区の様子をデータで把握し対策を立てるという論理的なストーリーで説明していました。社会に出ても立派に通用するストーリーであり感心しました。



<編集後記>

小学生が毘沙門台に愛着をもって大人になっても故郷を思う優しい気持ちを持ち続けてほしいと願っています。

武田副会長も述べておられるように、ワクチン接種が始まりましたが、私たちが安心して活動するにはまだまだ先のようなです。

今年度も今月を残すだけとなり、社会福祉協議会を構成する各団体は今年度の整理と来年度に向けた計画作業を行っています。コロナ禍で総会開催が危ぶまれますが各団体は開催を前提に準備に追われています。私たちが住む毘沙門台団地がお互いに助け合い、住んで良かったまちづくりをするために皆様の貴重な御意見をお寄せいただきますようお願い申し上げます。

(事務局長 横平和美)